

京都 C F

Here comes all Kyoto's current topics
The most energetic regional magazine
for all pleasure hunters.

を作りたい人、
募集中!

現在京都CF編集部では、編集部のお手伝いをしてくれる方を募集しています。CFが好きの方、京の町を遊び回るのが好きな方、原稿を書きたい方、編集に興味がある方、ご応募ください。

私達と一緒にCFを作ってみませんか?

まずは郵送にて履歴書をお送り下さい。

●問い合わせ先

京都CF編集部
Helpmate募集係 担当:大和(やまと)
〒604-8134
京都市中京区六角通烏丸東入ル 大輝六角ビル2F
E-mail:makoko@m21.or.jp

※今回の募集は社員募集ではありませんので
ご了承ください。
※今回電話でのご応募・ご質問は受け付けておりません
のでご了承ください。



劇団そとばこまち・女優

曾木亜古弥

S o g g i A k o y a

KYOTIAN I.D.

キョーティアンアイディ

【プロフィール】

68年、長岡京生まれ。小学3年生の学芸会で芝居に目覚め、小学5年生から演劇部に所属。大学入学と同時にオーディションを受け、劇団そとばこまちへと。88年「冬の絵空」にて初舞台。舞台を中心にTVなどでも活躍中。

【劇団そとばこまちとは…】

76年、京都大学生を中心に結成された小劇場劇団。昨年、長らく座長を務めた生瀬勝久氏が引退し、小原延之氏が5代目座長へと。新生・そとばこまちとして、02年2月のHEP HALLこけら落とし公演「シークレット・ライブ 第一部」が皮切りに。

掴み続けていたいの はリセットできない瞬間



3部作となる「シークレット・ライブ」根底に流れるのは、時代を超越した主題「家族一族」、それぞれ「輪廻」「風流」「共存」がテーマ



様々な時代考証の元、細部まで手抜きなく作られた衣裳。「シークレット・ライブ 第一部：めぐる秘密生活編」で使用された尼僧のもの



5代目座長・小原延之氏。役者を兼任せず、作・演出に徹するスタイルで「新生・そとばこまち」を引っ張ってゆく

「もの凄く勢いがある、ライブ感がある、小さい小さい小屋だったけどお尻の痛いのも忘れて」観た数時間。高校1年の時に出会った「そとばこまち」が、曾木亜古弥さんの人生を方向づけた。以来、すでに人生の半分近くを「そとばこまち」で過ごしてきた。「やり直しが利いて、編集されて創られるのがTVの芝居。舞台はやり直しが利かないけれど、気持ちの流れが自然でいられる。毎日違う観客の反応を肌で感じ、楽しめるようになってきたら手放すことはできない」。その醍醐味を手中に収め続けていた、その思いが曾木さんの生活を形作る。

「お芝居って面白いな」と思ったのは小学3年生。クラスでやっちょとした小芝居がきっかけで、演劇の道へ。高校卒業までは学校内の演劇部に所属していた。「大学でも演劇部に入ろうか」と考えていた時に「そとばこまち」の団員募集を知り、オーディションを経てメンバーとなる。そこでは「年齢もバラバラで、芝居のことしか考えてない人ばかり。1年間はいわば修業期間で、舞台にも立てず雑用に徹していたけど、おもしろい舞台を作っている空間にいらられるだけで満足だった」。入団3年目にして主役の座を射止め、それがきっかけでTVや他の演劇にも出演しながらの役者生活は15年目を迎えた。それが座長交代という、大きな節目を迎えた年。

通常、座長交代＝解散を意味する小劇場の劇団にあって、「そとばこまち」はこれまで4代、座長が交代してきた珍しい形態を持つ。座長が変わっても「そとばDNA」とでも言うべき「不条理でシニカル、かつユーモラス」な空気は保たれ続けてきた。小原延之氏が座長になると共に、25人の新人が入団。たくさん後輩を持つことになった彼女にも、その継承とオリジナリティの追求は、重圧となつてのしかかる。「先輩から指示をもらう立場だったのが一変。けれど先輩から与えてもらっていた『安心感』を新人達に見せて行かなくては」と加えて、衣裳製作のチーフとなった。「小劇場では役者が裏方を兼ねるのは当然のこと。衣裳の仕事も楽しいけれど、今回は延べ50人の衣裳を用意するために、夜は稽古、夜中は裁縫、昼は船場で素材探し」とかなりハードだった。だが「頭も身体もフル回転。こんなのは15年間で今回が一番かも」と笑顔がこぼれる。重責までもが、舞台の醍醐味のスパイスとなったかのような彼女。それを手放さない努力が、見応えとなって還元され続けるだろう。

Information 劇団そとばこまち
「シークレット・ライブ」
第2部：凶悪、成人アライクマ編」
■日時 5月21日(火)～26日(日)
■料金 前売2980円 当日3333円
■場所 HEP HALL (HEP FIVE 8F)
■問い合わせ先
劇団そとばこまちアトリエ 06-6885-3033